

(2面から続く)

1が一体的に相談支援を行う体制について、具体的な内容と準備状況は。

【区長】健康福祉センターと子ども家庭総合支援センターの連携体制を強化することで、6年度に子ども家庭センター機能を開始する。一体的で切れ目のない相談支援体制を構築し、安心して子育てできる環境をめざしていく。

【質問】部活動の地域移行における居場所づくりに対する見解は。

【教育長】今後、部活動改革を推進することで、生涯に渡りスポーツや文化芸術、学問に親しめる新たな居場所の拡充が期待できる。

【質問】板橋キャンパス跡地に整備される障がい者施設の開設予定時期は。

【区長】開設時期は8年度末を予定しており、円滑な開設に向け、都と連携を密にして事業を推進していく。

基本目標Ⅱ「いきいきがややく元気なまち」について問う

【質問】シニアのスマートフォン個別相談会で、「いたばしPay健康ポイント事業」を紹介し、健康管理ツールとしての活用を図るべき。

【区長】ポイント事業を積極的に周知し、シニア世代の健康づくりの一助としていく。

【質問】肺がん検診を集団検診から個別検診に変更し、必要なシステム改修費用を予算化し、検診事業のシステム化を充実させるべき。

【区長】現在、区医師会と多角的な視点で検討を進めており、クラウド技術などの導入も視野に、実現に向けて努力していく。

【質問】いたばしPayの

加盟店舗をさらに拡大すべき。

【区長】6年度は、決済額の最大10%を店舗に還元する「加盟店応援キャンペーン事業」を行うなど、加盟店の増加を図っていく。

【質問】板橋の「いっぴん」をふるさと納税の返礼品に加えることについて、どのように進めるのか。

【区長】いっぴん事業者に対し、返礼品参加の方法などを丁寧に説明することから開始する。国の返礼品承認を得るなどしながら、6年秋頃を目途に準備を進めていく。

【質問】プラスチック資源化事業を始めるにあたり、中間処理業者や雇上会社との連携について、見解は。

【区長】事業開始以降も状況を適切に把握・共有し、相互理解に努めていくことが重要となる。引き続き、事業者との協議を通じて、より良い連携となるよう努めていく。

【質問】東武東上線の可動式ホーム柵の整備について、先行して整備する3駅の安全性の確保と残りの駅の一日も早い整備を求める。見解は。

【区長】鉄道事業者から、先行して整備する3駅は、必要な対策を講じていくと聞いている。区内各駅にも補助を予定しており、引き続き都と連携し、事業者との協議を進め、早期の実現を促していく。

【質問】絵本のまちブランドを最大限に生かした高島平のまちづくりを推進すべき。

【区長】絵本のまちのブランドを生かし、価値を創造していくことで、「東京で一番住みたくなるまち」の新たなステージを体現できるように、



おなだか勝

(民主クラブ)



再開発の現状と見通しを問う

【質問】大山町クロスポイントの4棟のビルは6年中に完成予定であるが、アーケードの一部撤去の時期はいつか。

【区長】6年9月末を目途に工事を完了させるとハッピーロード大山商店街振興組合から聞いている。



大山町クロスポイント周辺地区(完成イメージ)

【質問】大山町クロスポイント周辺地区の再開発が完成する際には、披露式典や大規模まちづくりに取り組んでいく。

公共施設のベースプランについて問う

【質問】老朽化した公共施設の整備には、廃止施設の跡地活用も含めて検討する必要がある。まずは、今後10年間を見据えた財源確保が重要と考えるが、見解は。

【区長】基金・起債の活用に加え、廃止施設の貸付など、区有財産の有効活用も含め、中長期的な視点から様々な収入の確保にも努めていく。

※以上のほか、計画を推進する区政経営について質問があった

模イベントなど商店街活性化に対する支援をすべき。

【区長】現時点において、再開発組合から披露式典の開催などの具体的な報告は受けていない。今後、実施について検討を進めていく際には、商店街や地元団体などと連携を図っていく。

【質問】大山町ピッコロ・スクエア周辺地区の再開発について、反対などの運動が大きくなるとなっている。区が当事者を引き合わせる役目を担ってほしいが、見通しは。

【区長】商店街振興組合は、店舗側と折衝中であり、区は引き続き、今後の対応について強く要請していく。

職員を大切にすることを

【質問】区の保育所のあり方を追求する区立保育所は一定数残すべきである。今後、区立保育所はすべて民営化を考えているのか。

【区長】貴重な保育士人材の知見を幅広く子育て支援策に生かしていくためにも、一定数確保していく必要があると認識している。

【質問】すべての学校の用務業務を委託化する場合は、委託内容を見直し、施設管理などの整備を含めるべき。

【教育長】教職員は退勤時に施設全体の窓の閉鎖確認や消灯など、一定の負担が生じることから、施設管理などの学校整備を含め、今後も学校現場との意見交換に努めていく。

個人情報流出事故を問う

【質問】納付案内センター

において、委託事業者による個人情報流出事故が発生したことに対し、どのような再発防止策を講じたか伺う。

【区長】委託事業者に対し、遵守事項の徹底や法令遵守研修の受講などの申入れを行った。さらに、定期的な履行確認や区への報告を厳格化する。

いたばしの教育について問う

【質問】今後も小中一貫校を実現する可能性はあるのか、また、一貫校設置の基準はあるのか伺う。

【教育長】今後策定する「いたばし魅力ある学校づくりプラン後期計画」の中で、小中一貫型学校の設置や配置について、考え方を示していく。

【質問】今後も教科センター方式をめざすのか、それとも教科教室型運営方式との使い分けを模索していくのか、見解は。

【教育長】今後も教科センター方式を含めた教科教室型運営方式を継続し、時代ニーズや学校の状況に応じた教育環境の整備に努めていく。

【質問】学校現場では教員の休職や退職によって悲痛な叫びが聞こえている。区独自で教員経験者の採用をするなど、人材確保について予算を拡充すべき。

【教育長】学力向上専門員や学校生活支援員など区の財源を使って多くの人材を配置している。今後も、学校全体の活動を効果的に支援していく。

【質問】教員の異動がある中で、教員と部活動指導員の部活動種目が重なった場合、指導員を異動させるのか、それとも教員に別の部活動種目を担当してもらうのか伺う。

【教育長】臨機応変に対応する必要はある。教員が部活動



竹内

愛

(共産党)



区長の政治姿勢を問う

【質問】政治資金パーティー券収入のキックバックなどの裏金づくりは犯罪行為と認識しているか。見解は。

【区長】起訴された事案については、報道により承知しているが、有罪と確定していない個別の件に関して認識を述べない立場にない。

【質問】違法な裏金づくり、旧統一教会と深い関わりがあると考えられる政治家や政党と一体となり、区長選挙に臨んだことに対する認識は。

【区長】5年4月の区長選挙では、立候補に際して掲げた政策に賛同した方々に応援をされたものと認識している。

区民生活への支援を求めて

【質問】6年度に実施する生活支援臨時給付金の対象世帯を拡大すべき。

【区長】国は、幅広い世帯を対象とし、事業を実施するため、区独自の給付対象拡大については、動向に注視しつつ、状況に応じて検討を行う。

公契約条例の制定を求めて

【質問】公共事業における人件費の適正化は発注者にも

顧問を担うか担わないか、また担う部活動の種目の選択については、学校ごとの取り決めとなるため、学校と協議していくこととなる。

※以上のほか、区民の負担増たばこ税の使い途、かわまちづくり、板橋交通公園の改修について質問があった

責任がある。改めて公契約条例の制定を求めるが、見解は。

【区長】公契約に係る労働環境向上への取組みを具体化した要綱を制定し、労働環境チェックシートを運用している。今後はその分析と活用を進めるほか、現場の声を聞きながら、効果的な制度のあり方について検討を進めていく。

【質問】いつまでに、どのように人材育成や確保を図るのか、計画の策定と公表を。

【区長】板橋区職員レベルアッププランを毎年度策定しており、6年度から公表していく。人材確保に向けては、新たに着手している人材確保事業の効果検証などを行いながら、次期人材育成・活用計画の策定につなげていく。

あいきッズにおける学童機能の充実について問う

【質問】放課後から午後5時までの時間帯についても子どもに寄り添った対応ができるよう人員体制の強化を図り、学童機能を充実させるべき。

【教育長】人員体制は、国の



補助制度などの活用によるさらなる体制の強化に向けた研究を行っている。今後もDXの推進による新たなシステムの導入などにより、学童の多様な機能の質の向上を図っていく。

区有地活用のあり方を問う

【質問】旧高島七小跡地の地区計画で、建物の高さの上限を10mに引き上げる理由は。

【区長】周囲の住環境に配慮しつつ、敷地内に広場を確保したうえで、豊かな暮らしを支える機能を適切に誘導するためである。

【質問】UR団地の建替えは、どのように解体や転居が進められるのか、影響を受ける居住者にまず説明すべき。

【区長】直接関与するものではないが、居住の安定に配慮した検討や、居住者への丁寧な説明を行うよう、URに対して引き続き求めていく。

スフィア基準に沿った災害対策を

【質問】スフィア基準を地域防災計画に適用すべき。

【区長】スフィア基準は、被災者に支援活動を行う際の、国際基準であると認識している。避難所の一人あたりの面積を被災後約1週間以降は、スフィア基準の3.5平米とすることを検討していく。

子どもの権利を貫く教育を

【質問】包括的性教育に対する区の認識を問う。

【教育長】包括的性教育は、人権教育を基盤に、性教育にとどまらず、人間関係を含む幅広い内容を取り扱う教育であると理解している。今後も、より一層人間尊重の精神を徹底していく。